

# NPO法人 あっとわん

ママのこころと笑顔の応援団



## 第129号 通信

あっとわんは子育て支援の団体です。親と子のエンパワメントを応援しています。 2014年8月22日発行 46,370部



### NPO法人あっとわん設立 15周年記念 地域次世代育成応援計画 ハッピーライラック企画

～みなさんの「やりたい」を応援します～

NPO法人あっとわんでは、地域で活動していく次世代の人達を応援しています。ソーシャルプランナー育成支援講座や、インターンシップの取組もその目的は次世代育成です。この「ハッピーライラック企画」は、寄付を募り、子育てに関連する活動をしている人たちの、実際の活動を応援するための企画として考案しました。今回は、活動を運営資金として応援する形での企画とさせていただきます。今後も寄付を募りつつ、違う形で応援していく予定にしています。

子育てのママ向けにこんなことやってみて！親子で楽しい時間を過ごすための企画を考えたい！というグループのみなさんの「やりたい」を応援したいと思います。春日井市の地域の子育て支援環境が、より良いものになるための企画の応募をお待ちしています。



#### 企画の概要と流れ

- 1 みなさまからの寄付を集めそれを資金とします。(下記に寄付ができることを記載しています)
- 2 15000円を1団体に活動運営費としてお渡しします。5団体程度を予定しています。
- 3 説明会・応募→ヒアリング→選考の上決定→事業実施→活動報告→事業完了 となります。(説明会の出席の有無にかかわらず応募できます)
- 4 3人以上のグループで応募ください。法人の有無は問いません。
- 5 応募用紙はあっとわんのホームページからダウンロードしてご記入ください。
- 6 応募内容は、「子育て支援に関するもの」「親の学びに関するもの」「子どもの育ちに関するもの」がテーマです。
- 7 応募団体は現在活動している地域が春日井市外でも構いませんが、今回の企画での事業実施は春日井市内で実施してください。
- 8 事業報告後簡単な報告をお願いします。

#### 応募の流れ

- 説明会にご参加下さい。10月17日(金) 10:30～11:30 あっとわん事務局にて実施します。予約は不要です。(説明会の出席の有無にかかわらず応募できます)
- 応募用紙に企画内容を記入していただき提出してください。10月31日(金)にあっとわん事務局に17時までに持参いただくか、郵送で必着になるよう応募ください。
- ヒアリングを行います。11月6日(木) 10:30～応募団体ごとに時間を設定します
- 採択された団体の方には、11月12日(水) ホテルプラザ勝川で行う、NPO法人あっとわん15周年パーティの席で贈呈式を行いますので、なるべくご出席ください。(13時頃を予定)。当日の15時にあっとわんのホームページでも結果をお知らせします。
- 採択事業を実施する際、活動前の15分をあっとわんの事業説明とさせていただきますので、ご理解ください。
- 事業実施後、事業報告等の提出をお願いします

#### 寄付受付先

受付箱設置場所: NPO法人あっとわん事務局(サンマルシェ南館地下一階 木曾駒さん前)  
振込先: 三菱東京UFJ銀行 高蔵寺支店 普3927345  
特定非営利活動法人 あっとわん代表理事 河野弓子  
郵便振替口座 00840-0-10355 特定非営利活動法人あっとわん  
その他、あっとわんのミニイベントでの収益も寄付にあてさせていただきます。  
例) 9月22日(月) カードセラピーまつりの全収益分

#### ※企画名の由来

ハッピーライラックの花をご存知ですか？ライラックの花弁は通常4枚ですが、まれに5枚の花があり、ハッピーライラックと呼ばれ、見つけた人には幸福が訪れるそうです。この企画を通じて幸せが訪れる人が増えると思います。



あっとわんのFacebookページができました！

<http://www.facebook.com/npoatone> イベントなどの様子をアップしています。



いいね！  
してね！

あっとわんのホームページ

<http://npo-atone.jimdo.com>

ブログも  
読んでね！

代表理事 河野弓子のブログ <https://ameblo.jp/berinyan/>

東部子育てセンターのブログ <http://blog.canpan.info/atone-toubukosodate>

#### かわのゆみこ

ここ10年で子育て支援の環境は、とても充実したのようになってきました。それでもなお、気軽に相談するということへのハードルは高いように感じています。地域にある子育て支援の相談窓口は意外とたくさんあります。子育て支援センターはお子さんと遊びに行きながら、そのスタッフさんに相談してみるといいと思います。子どもの年齢がもうちょっと高くなっても、他の相談場所を教えられる場合もあるのだ、気軽に聞いてみるというかなと思います。その時のコッは、良い意味で「必要以上に期待しない事」です。人と人の相性もあるでしょうし、たまたま、自分がつくりこる返答がない場合も多々あります。そんな時は、「必要以上に落ち込まないで」「次への足掛かりをつくる」という切り替えをお勧めします。▼それもこれも、最終的には「コミュニケーションの問題ではないか」と思っています。コミュニケーションの基は言葉のやりとりを通じて、自分の本当の思いを伝えていくことだと思えます。その自分の本当の思いはどこから来ているのか？認めてほしい「わかかってほしい」ということを、適切に表現していくことをあきらめないで欲しいのです。ちよっとした言葉の使い方や、受け取り方で随分スムーズにいくことがたくさんあります。勝手に思い込まないで、言葉で伝える練習や経験を積んでいくことが、子どもをこれから育てていくうえでも大切なポイントになると思います。それがひいては、子どもにも「伝えていく」というつながり、子ども自身のことを「受け取っていい」というつながりがつくっていくと思います。たかが相談、されど相談、そういう場面を通じて、コミュニケーションを高める良い機会と捉えていくといいかなと思います。

#### あっとわん春秋